



ちょっとひと息

『ホテルジューシー』

坂木司／著 (KADOKAWA)



大家族の長女である浩美は、大学の夏休みの間、石垣島のホテルで住み込みのアルバイトをすることに。ところがすぐに、那覇の「ホテルジューシー」へ異動が命じられてしまいます。旅行者や頼りないオーナー代理と過ごす日々は、どうなってしまうのでしょうか？ (担当T)

『生き抜くためのごはんの作り方』

河出書房新社／編 有賀薫／[ほか]著
(河出書房新社)



「食べるとは生きること」という言葉があるように、食は身体や心を作る上で大切。もし1人で料理ができたなら、健康な心と身体を自分で作れる事といえそうです。身体や心の悩みに効くレシピとエッセイで「生き抜く力」を教えてください。(担当T)

『学校では教えてくれない自分を休ませる方法』

井上祐紀／著 (KADOKAWA)



身体は休んでいても、なんだか気分が晴れない…。そんなときは、心が休めていないのかもしれない。心と身体をほんとうに「休ませる」ために、自分の心との向き合い方を教えてください。(担当S)

『ことばにできない宇宙のふしぎ』

エラ・フランシス・サンダース／著 イラスト
前田まゆみ／訳 (創元社)



目先のことに囚われて仕方ないとき、読んでみてほしい！この本で、遠い宇宙に思いを馳せてみましょう。例えばあなたのその体、すなわち炭素。これは、もとをたどれば宇宙の星が爆発したときの「星くず」なんですって！全ては宇宙に通じるんだ、と壮大な気持ちにさせてくれます。(担当M)

『ミーナの行進』

小川洋子／著
(中央公論新社)



魅力的な従姉妹のミーナとその家族、「ポチ子」というカバもいる家で、主人公は一年間暮らすこととなります。おとぎ話のような日常って、たぶんこの小説に描かれる暮らしのことを指すのでしょうか…！やさしい挿絵も印象的です。ぜひ読んで、ショートトリップの気分を味わってみてください！(担当M)

『14歳からの映画ガイド』

河出書房新社／編、朝井リョウ／[ほか]著
(河出書房新社)



ひと息ついて、映画鑑賞するのはいかが？この本では、様々な分野で活躍する25名の方が14歳に観てほしい映画を紹介しています。それぞれが十代の頃を思い出し、読者に「心の居場所」「心の栄養」になる作品を願いを込めて取り上げていて、読むだけでも励まされる一冊です。(担当S)

外国語の本のご紹介！

みなさんは、外国語で書かれた本を読んだことがありますか？

中央図書館の子どもカウンター横には、外国語の絵本コーナーがあります。英語、中国語、韓国語、フランス語、トルコ語、ベトナム語など、他にもさまざまな言語で書かれた絵本が置いてあります。小さいころに読んだことがある絵本でも、他の言語で書かれたものを見てみると新しい発見があるかもしれません。ぜひ気軽に手に取ってみてくださいね！

また、6階には英語の多読本も置いてあります。多読とは、辞書などをひかずによくの本をひたすら読むことです。単語数が少ないものから多いものまで置いているので、自分に合ったレベルの本を探して英語の学習に役立ててみてはいかがでしょうか。



外国語絵本コーナー

英語多読本は、6階集密書庫にあるよ！
利用する時はカウンターに声をかけてね。



英語の多読本



ティーンズ 新刊本 ご紹介！

『中高生の防災ブック』

益田美樹／著（ペリかん社）



いざ災害が起きた時、私たちはどんな行動をとるべきでしょう。学校にいる間は？ 帰宅中だったら？ 普段からシミュレーションして、防災力を高めましょう。(担当H)

『スマホアプリはなぜ無料？』

松本健太郎／著（河出書房新社）



現在、スマホのアプリの大半は無料です。でも、有料のアプリもあります。違いは何でしょう。本当に「無料の方がお得」？ 無料のものの「コスト」は誰が負担しているの？ 一緒に「世の中のしくみ」を考えてみましょう。(担当H)

『ランキングマップ世界地理』

伊藤智章／著（筑摩書房）

高い山トップ10や長い川トップ10といったメジャーなランキングから、「卵の小売価格」や「宿泊施設の客室数の増加数」といったレアなランキングまで、様々な切り口で世界地図をマッピングしています。

まずはパラっとめくって、気になった地図の解説を読んでみては？ 意外な「世界の姿」が見えてくるかもしれませんよ！(担当H)



『学びの技』

14歳からの探究・論文・プレゼンテーション』（改訂版）
登本洋子・伊藤史織
・後藤芳文／著
（玉川大学出版部）



学年が進んでくると、調べ学習をしたり、その結果をまとめたり、発表したり…といった機会が増えてくるかと思えます。そんな時に役立つのがこの本。

テーマ設定の仕方、情報収集の方法や考え方、発表の仕方から、論文のまとめ方にいたるまで、細かく紹介されています。参考にしてみてもいい？(担当H)

『宇宙から考えてみる』

「生命とは何か？」入門』

松尾太郎／著（河出書房新社）

みなさんは、宇宙に生命はいると思いますか？「ウチュージンなんてバカな！」とあなたは言うでしょうか。でも科学の世界では、宇宙の構造が分かってくるにつれ、「こんな広大な宇宙の中で、地球にしか生命がないなんて、そんなはずはないだろう」というのが、ほぼ常識になってきています（もちろん宇宙「人」かどうかは分かりませんが…）。

この本では、天文学の歴史から生命の定義、最新の地球外生命体探査研究の紹介まで、生命と宇宙を考えるためのあれこれを、幅広く解説しています。(担当H)

『物語、英語で読んでみない？』

佐藤和哉／著（岩波書店）



この本では、英語上達の近道として、やさしい英語で書かれた物語をたくさん読むことを勧めています。

この本に載っているのは「最後の一片」「まだらの紐」「ゆきおんな」の3作ですが、読み慣れ

てきたら他の物語に挑戦してみてもいいかも？！

中央図書館の6階には、有名作品をやさしい英語で書き直した「英文多読図書」があるので、ぜひそちらも読んでみてくださいね。(担当H)



中学生の職業体験「夢わーく」を行いました

川口市立中央図書館では、市内の中学校からの申込に応じて「川口の元気夢わーく体験事業」の受入を行いました。今年度は7校からの参加があり、図書館に興味をもってくれた中学1年生が3人ずつ職業体験を行いました。

絵本の読み聞かせや、カウンターでの接客業務、レファレンス体験、点訳・音訳の実習、市内を巡回する「移動図書館」の運営などを体験したほか、各自お気に入りの本を1冊選んでもらい、ポップ表示を作成することで、中央図書館のティーンズコーナーの展示にも挑戦してもらいました。

3日間という短い日程でしたが、ふだん、普通に図書館を利用するだけでは見えてこない、図書館業務の幅広さ・奥深さに触れることができたのではないのでしょうか。これを機会に、これまで以上に図書館を身近に感じてもらえたら嬉しいです。

ぜひまた、利用しに来てくださいね♪



《 編集後記 》

花粉の季節がやってきました。アレルギー持ちの皆さん、一緒にこの苦難の時期を乗り越えましょう！（担当H）
少しずつ春の訪れを感じる陽気が増えてきました。出会いの春、皆さんが素敵な本とも出会えますように！（担当T）
推しの動画を見たりライブに行ったりすることが、私にとっての心の休息、栄養補給です。推しに感謝。（担当S）
去年は13年ぶりの宇宙飛行士の採用がありました！私のような文系でも応募できるとのこと、実は少し気になってました。（担当M）